



Contact Methods
Mob: (86)18668768846
Tel: (86) 577 68668118
Wechat: zigpac123
Skype: bruce.chan1999
E-mail: bruce@zigpac.com
Whatsapp: +86-18668768846
Telegram: @Zigpacstickers

Company Info
Name: Wenzhou Zigpac Industry Limited
Address: No. 148-152, Building C, Jiangbin
Commercial and Residential Building, Longgang
City, Wenzhou City, Zhejiang 325802, China



YOUR CUSTOM PRINTING & PACKAGING PARTNER FOR SMALL AND MEDIUM BUSINESSES



CMMS 12 to 36 months

Details

CMMS 12 to 36 months

CMMS 12 to 36 months

CMMS 12 to 36 months

References

1. [CMMS 12 to 36 months](#)
2. [CMMS 12 to 36 months](#)
3. [CMMS 12 to 36 months](#)
4. [CMMS 12 to 36 months](#)
5. [CMMS 12 to 36 months](#)
6. [CMMS 12 to 36 months](#)
7. [CMMS 12 to 36 months](#)

CMMS 12 to 36 months

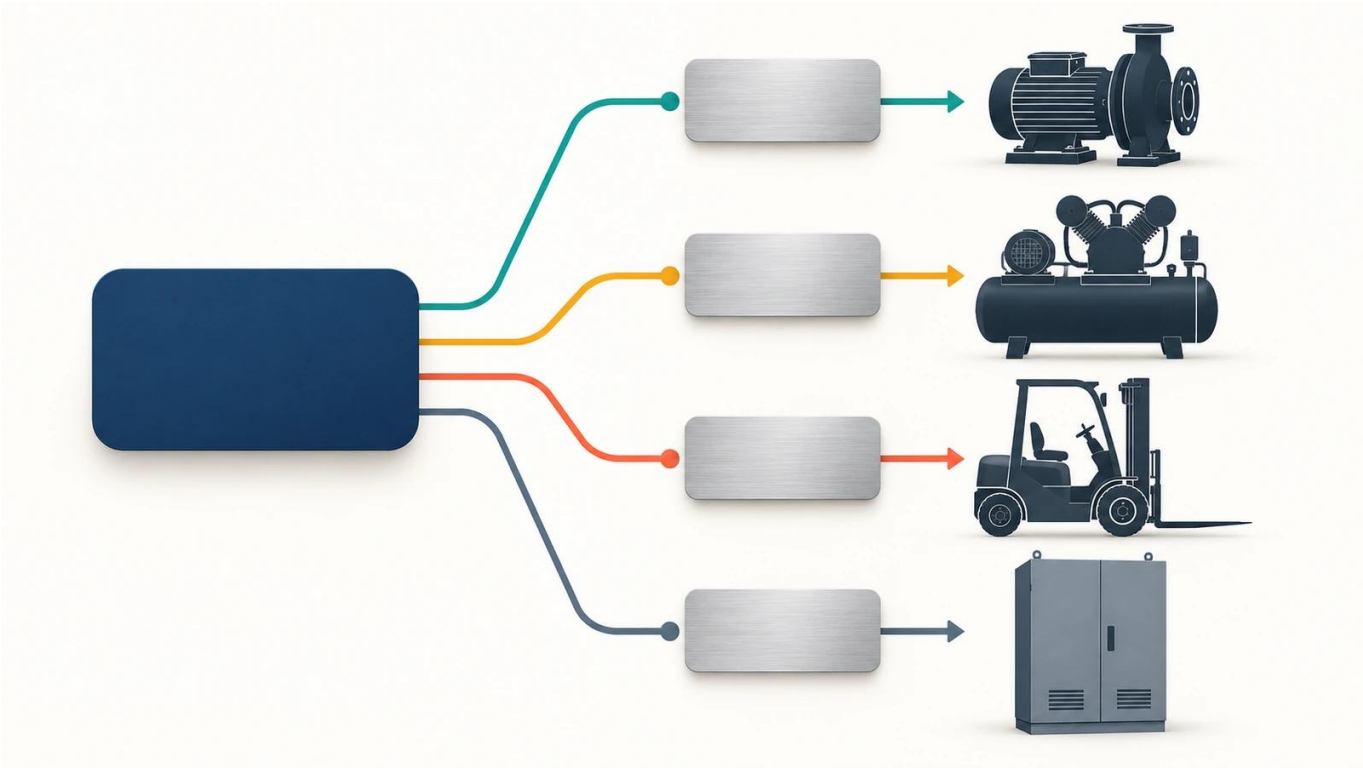
CMMS 12 to 36 months

CMMS 12 to 36 months

“[RFID 技術](#) による設備管理の効率化” について、[RFID 技術](#) がどのようにして設備管理の効率化に貢献しているかを説明します。

ISO 55001 標準と RFID 技術の組み合わせは、設備管理の効率化に大きく貢献しています。[ISO 55001](#) 標準は、設備のライフサイクル管理を体系的に行うための国際標準であり、[RFID 技術](#) は、設備の識別、追跡、管理を自動化するための有効な手段です。

以下に、RFID 技術が設備管理の効率化に貢献する具体的な方法を示します。



1: RFID 技術による設備管理の効率化

RFID 技術は、設備の識別、追跡、管理を自動化するための有効な手段です。RFID 技術を用いて、設備の位置、状態、履歴などをリアルタイムで把握することが可能になります。これにより、設備の故障を未然に防止し、メンテナンスの効率を向上させることができます。

2: RFID 技術による設備管理の効率化の具体的な方法

RFID 技術を用いて、設備管理の効率化を実現するための具体的な方法として、以下のような方法があります。

- RFID 技術を用いて、設備の位置、状態、履歴などをリアルタイムで把握することが可能になります。

- 0/0 I/1
- GS1 EPC Tag Data Standard^[4]
- 2.3 (2025)
- 252.211-7003
- MIL-STD-130

Global Individual Asset Identifier (GIAI) GS1 GS1 EPC Tag Data Standard^[4] 2.3 (2025) RFID URI DFARS 211.274^[5] 252.211-7003 MIL-STD-130

3:

Code 128 QR Data Matrix IUID (quiet zone)

ISO/IEC 15415:2024^[6] 2D (3rd 2024) ISO/IEC 15416 B MIL-DTL-15024G^[7] 3/32 0.003

4:

OEM

CMMS 系統の導入により、設備のメンテナンス作業が効率化され、コスト削減が期待されます。また、設備の稼働状況をリアルタイムで監視できるため、故障の発生を未然に防ぐことができます。さらに、設備の寿命を延ばすこともできます。CMMS 系統の導入は、設備管理の効率化とコスト削減に大きく貢献します。

図 5: CMMS 系統の導入による効果

CMMS 系統の導入により、設備のメンテナンス作業が効率化され、コスト削減が期待されます。また、設備の稼働状況をリアルタイムで監視できるため、故障の発生を未然に防ぐことができます。さらに、設備の寿命を延ばすこともできます。CMMS 系統の導入は、設備管理の効率化とコスト削減に大きく貢献します。



CMMS 系統の導入により、設備のメンテナンス作業が効率化され、コスト削減が期待されます。また、設備の稼働状況をリアルタイムで監視できるため、故障の発生を未然に防ぐことができます。さらに、設備の寿命を延ばすこともできます。CMMS 系統の導入は、設備管理の効率化とコスト削減に大きく貢献します。

図 6: CMMS 系統の導入による効果

CMMS 系統の導入により、設備のメンテナンス作業が効率化され、コスト削減が期待されます。また、設備の稼働状況をリアルタイムで監視できるため、故障の発生を未然に防ぐことができます。さらに、設備の寿命を延ばすこともできます。CMMS 系統の導入は、設備管理の効率化とコスト削減に大きく貢献します。

この文書は、デジタル製品パスポート (Digital Product Passport) の導入に関するガイドラインを提供することを目的としています。本ガイドラインは、EU 指令 (EU Directive) に基づき、製造業者が製品のライフサイクル全体を通じて、製品の起源、成分、環境影響などの情報を消費者に提供することを義務付けています。本ガイドラインは、製造業者、サプライヤー、消費者、および規制当局のすべての関係者にとって重要な参考資料となります。

QR Data Matrix RFID: デジタル製品パスポートの技術的選択肢

デジタル製品パスポート (Digital Product Passport) の実装には、QRコード、Data Matrix、RFID (Radio Frequency Identification) の3つの主要な技術的選択肢があります。それぞれの特徴と適用範囲を比較します。

技術	特徴	利点	欠点	適用範囲
Code 128 (1D)	1次元バーコード	コストが低く、広く普及している。	データ容量が限られている。	基本的な製品識別と追跡。
QRコード	2次元バーコード	大容量のデータを格納できる。	読み取りにカメラが必要。	製品の詳細情報とデジタルリンクの提供。
Data Matrix	2次元バーコード	高密度で、小さなサイズで多くのデータを格納できる。	読み取りに専用のリーダーが必要。	精密な製造環境での製品追跡。
RFID UHF	無線周波数識別	非接触で大量の製品を同時に読み取ることができる。	コストが高く、プライバシー懸念がある。	サプライチェーン全体の可視化と自動化。
RFID NFC	近距離無線周波数識別	スマートフォンで簡単に読み取ることができる。	データ容量が限られている。	消費者向けの製品認証と情報提供。

デジタル製品パスポート (Digital Product Passport) の導入は、EU 指令 (EU Directive) に基づき、製造業者が製品のライフサイクル全体を通じて、製品の起源、成分、環境影響などの情報を消費者に提供することを義務付けています。本ガイドラインは、製造業者、サプライヤー、消費者、および規制当局のすべての関係者にとって重要な参考資料となります。また、GS1 Digital Link (Digital Product Passport) の導入は、製品のデジタル化と可視化を促進し、消費者の信頼を高めるのに役立ちます。 (Digital Product Passport) の導入は、2026年 (PFCC^[10]) までに完了する必要があります。また、GIAI (Global Information Assurance Initiative) のガイドラインも参照してください。

技術	特徴	利点	欠点	適用範囲
QRコード	2次元バーコード	大容量のデータを格納できる。	読み取りにカメラが必要。	製品の詳細情報とデジタルリンクの提供。
Data Matrix	2次元バーコード	高密度で、小さなサイズで多くのデータを格納できる。	読み取りに専用のリーダーが必要。	精密な製造環境での製品追跡。
RFID UHF	無線周波数識別	非接触で大量の製品を同時に読み取ることができる。	コストが高く、プライバシー懸念がある。	サプライチェーン全体の可視化と自動化。
RFID NFC	近距離無線周波数識別	スマートフォンで簡単に読み取ることができる。	データ容量が限られている。	消費者向けの製品認証と情報提供。

6. ISO/IEC, ISO/IEC 15415:2024, 國際標準化組織 — 國際標準化組織, 3rd, 2024 <https://webstore.iec.ch/en/publication/104398> ↵
7. 國際標準化組織, MIL-DTL-15024G, 國際標準化組織, 2018-03-03, 美國 DLA ASSIST QuickSearch <https://quicksearch.dla.mil/ImageRedirector.aspx?token=5750985.11007> ↵
8. ANSI/UL 969, 國際標準化組織, 國際標準化組織, 6th, 2025-07-28 <https://webstore.ansi.org/standards/ul/ul969ed2025> ↵
9. GS1, 國際標準化組織 (GS1 Digital Link URI Syntax 1.7, 國際標準化組織 2026) <https://www.gs1.org/standards/log> ↵
10. Paper, Film & 國際標準化組織 Converter, “國際標準化組織: 國際標準化組織,” 2026-10-05 <https://pffc-online.com/news/19239-from-barcode-to-backbone-how-tags-and-labels-are-rewiring-the-packaging-value-chain> ↵